

令和4年度第5回座間市社会教育委員会議会議録

会議の名称	令和4年度第5回座間市社会教育委員会議会		
開催日時	令和5年1月18日(水)		
開催場所	座間市役所 3階 3-1会議室		
出席者	大串議長、小池副議長、峰尾委員、乾委員、 赤羽委員、宮代委員、浦委員		
事務局	安部スポーツ課長、市嶋青少年課長、飯田図書館長 吉野生涯学習課長、淀川副主幹兼生涯学習係長、河野生涯学習係主事		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1. 経過報告と今後の事業について 2. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(愛川町会場)について(報告) 3. 知ることからはじめる人権啓発研修講座について(報告) 4. 研究テーマについて		
資料の名称	資料1. 第5回座間市社会教育委員会議会経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会 <div style="text-align: right;">【愛川町会場】</div> 資料4. 令和4年度知ることからはじめる人権啓発研修講座 資料5. 市民活動団体一覧表 資料6. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第2回理事会 資料7. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会 <div style="text-align: right;">【箱根町会場】開催要項</div> <div style="text-align: center;">令和4年度あすなろ大学展のご案内</div>		
会議の結果			
1. 研究にあたり、対象とする団体について、次回の会議までに、今回出た意見を委員 各々整理し、次回の会議から対象とする団体の詳細等を決定していく。			

議事の概要

(1) 経過報告と今後の事業について 資料1、2

生涯学習課長：資料1、2について説明。

大 串 議 長：質問がある委員はいるか。

→委員一同なし

～スポーツ課長、青少年課長、図書館長退席～

(2) 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（愛川町会場）について

(報告) 資料3

生涯学習係長：大串議長、浦委員が出席した。

浦 委 員：主にPTAに関連した講演内容だった。社会教育委員の内容からは外れているように感じた。

大 串 議 長：愛川町は、コミュニティ・スクールや、地域学校協働活動の取組が進んでいるため、情報をもう少々知りたい印象を持った。我々の任期中に、本市の地域学校協働活動の試行は始まるか。

生涯学習係長：試行を開始する予定だが、皆様の任期中に意見を頂戴したりするかどうかは、現時点では決まっていない。

(3) 知ることからはじめる人権啓発研修講座について (報告) 資料4

生涯学習係長：赤羽委員、宮代委員が出席した。

宮 代 委 員：講師は3歳から網膜色素変性症を患い、徐々に視力が落ちていったとのことだった。現在は光しか見えない状況である。本来であれば悲観するような状況だが、健常者以上に知識があり、人間はやればなんでもできる、今という時間を大切にして欲しいという話をされた。力をもらえるような講演会であった。

赤 羽 委 員：宮代委員の報告に加えて、学校や自治体または学校内の小さな集団などでも依頼があればどこにでも伺う、依頼をして欲しい、ということを経験後に強く話しをしていた。

(4) 研究テーマについて 資料5

小池副議長：サポートセンターに登録している高齢者以外も含む団体は184団体である。また、サポートセンターに登録はしていないが、公民館やコミュニティセンターで活動している団体は420団体近く存在している。研

究テーマは「高齢者の生涯学習」で決定したが、言い換えれば、高齢者の居場所とも言える。市民活動団体一覧表内の「年齢層」とは、役員の年齢層である。また、会員の中に70歳～80歳代が在籍している団体を抽出しているだけであり、その年齢でないと入会できないことではない。一番多い団体は、文化・芸術分野である。近日、要約筆記・手話の団体講師となる講習会を開催予定であり、サポートセンターで募集をかける。応募してくる方の年齢層がどのくらいなのかを情報提供することができるため、研究の参考にしてもらいたい。市民活動団体一覧表に掲載されている団体の中で、気になる団体があれば、声を掛け、会議に出席いただくことも可能である。

大 串 議 長：行政と共に活動している団体はあるのか。

小池副議長：行政と協力しながら活動している団体もあるが、それだけではない。

赤羽委員：まずは、どのような活動をしている団体を対象とするかを決め、団体を絞らなければならない。

大 串 議 長：活動の詳細を知るために、登録している団体にアンケート調査を行うべきか。アンケート調査を行う場合、事務局にお願いすることは可能か。

生涯学習課長：アンケート用紙の作成や集計は、事務方で担うことは可能である。しかし、調査の方向性やアンケートの内容等、詳細を会議で協議いただき、提示していただきたい。

生涯学習係長：前回の研究においてもアンケート調査を行ったが、社会教育委員の研究の目的がアンケート調査を行うことにならないよう気をつけていただきたい。

小池副議長：重要なことは、家にこもっている高齢者を、団体が助けてくれるかどうかである。そのような団体を抽出しなければならない。

大 串 議 長：高齢者が、社会と繋がるための活動をしている団体、ということか。

小池副議長：そのとおりである。

赤羽委員：高齢者の定義は、基本情報として65歳以上とされているが、座間市の人口のうち、65歳以上がどのくらいの割合を占めているか調べることは可能か。

生涯学習係長：定かではないが、確認はできると思われる。

生涯学習課長：座間市の人口に関する統計要覧が市ホームページで公開されている。令和2年度時点の情報だが、座間市の人口が13万人ほどのうち、65歳以上は33,000人（男女合計）である。

生涯学習係長：研究の最終的な目標が決まらないと、対象とする団体の抽出は難しい。

目標の内容によっては、団体に聞き取りが妥当なのか、アンケート調査が妥当なのか、調査方法も変わってくる。

大 申 議 長：先ほど課長が示した方法で人口等は調査する。乾委員は住宅のリフォーム業をされているが、客層はどのくらいか。

乾 委 員：60歳～80歳代が多い。30歳～40歳代は基本的には新築のため、リフォームではないと思われる。

大 申 議 長：どのような要望が多いか。

乾 委 員：手すりや段差の解消に関する依頼が多い。

浦 委 員：近所のご夫婦を見ていると、旦那様は都内に勤めていた方が多く、最近定年を迎えた方が多くなっているように見える。奥様同士は、様々なタイミングで顔を合わせていたので、お互いが知り合いとなっているが、旦那様は誰がどこの方なのか、わからないのではないだろうか。そういったことがきっかけでコミュニティが希薄になり、やがてひきこもりがちになり、そのまま高齢者になってしまう。そのような人たちが、半強制的にでも外に出ていけるようなきっかけづくりをすることが必要なのではないか。

赤 羽 委 員：60歳～70歳代を過ぎた方の中で、何かやってみたいがきっかけがない。という方が多いと感じている。

大 申 議 長：次回の会議までに、今回出た意見を委員各々整理し、次回の会議から対象とする団体の詳細等を決定していく。

その他

生涯学習プランについて

生涯学習係長：パブリックコメントの募集が終了し、市内から11件、団体1件の提出があり、意見数は42件であった。現在、回答を取りまとめている。これに基づき、生涯学習プラン策定委員会で意見を聴取し、最終的な完成に向かう。社会教育委員への意見聴取は、メールで行うことを検討している。

令和4年度神奈川県社会教育連絡協議会第2回理事会資料について 資料6

生涯学習係長：大申議長が本理事会を欠席したため、県から資料を送付された。ご一読いただければと思う。

令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（箱根町会場）について

資料7

生涯学習係長：基本的には現地集合、現地解散とし、公共交通機関を使用していただきたい。予算上では、出席人数は委員3名程度を見込んでいる。1月中に出席者を決定し、県に報告する。希望者はいるか。

大 申 議 長：出席する。

乾 委 員：会議後予定を確認し、報告する。他に出席希望者がいればそちらを優先していただいて構わない。

【次回会議 令和5年3月15日（水）10時～ 市役所 5-2会議室】